

For life science research only
Not for use in diagnostic procedures

iMatrix-221

Product No. 892 061 350 µg
Product No. 892 062 1,050 µg



Version 002
Store at 2-15°C

製品概要: iMatrix-221 は、ヒトラミン 221 のインテグリン結合部位(E8 フラグメント)を組換えタンパク質として CHO-S 細胞(Thermo Fisher Scientific 社)に発現させ、高純度に精製した細胞培養基質です。全長ラミン 221 と同等のインテグリン結合活性を示します。培養容器にコートすることで、心筋や骨格筋細胞の分化誘導および維持培養を可能にします。また、ラミン 221 に接着するその他の細胞の培養にも有用です。

内容物: 組換えヒトラミン 221-E8 タンパク質

形状: 液状品 溶媒: PBS(-)

濃度: 0.5 mg/mL

内容量: 175 µg / 0.35 mL / tube
Product No. 892 061 350 µg / 2 tubes
Product No. 892 062 1,050 µg / 6 tubes

保存方法: 遮光して、2-15°Cで保存してください。

使用期限: 有効期限は、製造後 2 年です。有効期限は外箱に記載しております。上記保存方法にて保存し、有効期限内にご使用ください。

活性: ヒトインテグリン $\alpha 7 X 2 B 1$ との結合活性が、解離定数 10 nM 以下を示します。

使用方法: iMatrix-221 を下記の方法で培養容器にコートします。コーティング濃度は、細胞の種類や株、培地、目的によって異なります。コート不足の場合、細胞の剥離や細胞の状態のばらつきが見られることがあります。逆に、コート過多の場合、継代時に細胞がはがれにくくなる場合があります。そのため、最初に 0.5 µg/cm² を基準にして 0.1-1.5 µg/cm² の範囲で培養に最適なコーティング濃度を検討してください。

1) iMatrix-221 を PBS(-)で希釈します。希釈はコーティング直前に行ってください。(0.5 µg/cm² でコートする場合、面積 9.6 cm² /ウェルの 6 ウェルプレートでは、1 ウェルあたり 9.6 µL の iMatrix-221 を PBS(-)で 2 mL に希釈してコートします。)

2) iMatrix-221 希釈液を入れた培養容器を 37°C で 1 時間、室温で 3 時間、4°C で一晩のいずれかの条件で静置します。
3) コーティング液を吸引除去後、速やかに細胞を播種します。コート面を乾燥させないようにしてください。

※継代時に細胞がはがれにくい等の問題がある場合は、コーティング濃度を下げる等、条件を見直してください。

参考文献:

Nishiuchi R. *et al.* (2006), *Matrix Biol.* **25** (3): 189-97
Taniguchi Y. *et al.* (2009), *J. Biol. Chem.* **284** (12): 7820-31
Israeli-Rosenberg S. *et al.* (2014), *Circ. Res.* **114** (3): 572-86
Ishii K. *et al.* (2018), *Stem Cell Reports* **10** (2): 562-82

注意: 本製品は試験研究用です。人体には使用しないでください。本製品を誤って吸飲した場合や、目に入った場合は、速やかに洗浄し医師の診察を受けてください。

製品情報: 参考文献や Q&A 等の最新情報を株式会社マトリクソーム Web ページ内で公開し、随時更新しております。下記 URL または QR コードよりご確認ください。

販売元: 株式会社 マトリクソーム
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2
大阪大学蛋白質研究所共同研究拠点棟
電話: 06-6877-0222 Fax: 06-6877-0002
E-mail: info@matrixome.co.jp
URL: <http://www.matrixome.co.jp>



製造元: 株式会社 ニッピ
〒120-8601 東京都足立区千住緑町 1-1-1